

「茨城県内における麻しん(はしか)の流行について」

茨城県内において麻しん(はしか)が流行しています。

5月13日(火)時点で、2025年の累計患者数は21人となりました。

過去10年で過去最多です。

それに伴いまして、以下のご協力をお願いいたします。

1. 医療機関にて麻しんの診断を受けた場合には、速やかに学校にご連絡ください。

麻しんは第二種学校感染症の一つです。

解熱した後3日を経過するまで出席停止となります。

2. 母子健康手帳で麻しんワクチンの接種歴をご確認ください。

麻しんの予防にはワクチン接種が最も有効です。麻しんワクチンは1978年に定期接種（1回）が開始され、現在は2回（1歳、小学校入学前）実施されています。

〈定期接種の回数〉

- ・1990年4月2日以降に生まれた人…2回（1歳、小学校入学前）
- ・1990年4月1日以前に生まれ、50歳以下の人…1回
- ・50歳以上の人…0回（一部、任意接種で受けた人もいる）

但し50歳以上の方は既に罹患済みで抗体を持っている場合が多いです。

ワクチン接種に関する疑問点につきましては、かかりつけの医療機関にご相談ください。

麻しんの感染経路や症状については、以下のチラシ（厚生労働省）をご覧ください。

<https://www.mhlw.go.jp/content/001131749.pdf>